

問 1. 以下のがん患者をめぐる状況の例を読み、各設問に解答しなさい。

A 氏は 50 歳代前半、男性。製造業に勤務し、現場責任者として部下をまとめる立場にある。妻と二人暮らしで、子どもは独立している。

1 年前のがんと診断され、現在は外来で治療を継続している。治療開始当初は大きな副作用はなかったが、ここ数か月は疲労感、倦怠感、集中力の低下を自覚するようになった。A 氏は「仕事を続けることが自分の役割であり、生きがいでもある」と話しており、治療開始後も勤務形態の調整は行っていない。職場には治療を受けていることは伝えているが、症状や体調の変化については詳しく説明していない。A 氏自身は「弱っていると思われたくない」「これ以上、周囲に負担をかけたくない」と発言している。自宅では、妻が食事や生活面で気を配っているが、A 氏は体調について多くを語らず、会話は日常的な内容にとどまっている。妻は「無理をしているのではないか」と感じつつも、A 氏の性格を考えると踏み込めずにいる一方で、将来の生活や仕事について不安を抱えている様子であるが、それを表に出すことは少ない。

外来受診時、A 氏は医師や看護師に対し「大丈夫です」「何とかなっています」と答えることが多い。診察では治療や検査結果についての説明は受けているが、A 氏自身は「自分の生活全体として、この治療をどう続けていきたいのか」について具体的な発言はなく、気持ちや考えを十分に整理できていない様子である。

- 1) A 氏とその家族に生じている課題を看護学の視点から 3つ挙げ、①なぜ課題と捉えたか、②その課題が放置された場合どのような影響が生じ得るか、それぞれ説明しなさい。
- 2) それらの課題について、患者・家族・医療者・社会（職場）の関係性においてどのような相互作用が生じる可能性があるか、考えられることを説明しなさい。

問 2. 以下の用語について説明しなさい。

- 1) 患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）
- 2) 相対生存率
- 3) オンコロジックエマージェンシー（オンコロジーエマージェンシー）
- 4) スピリチュアルペイン